

<美濃地区>

	意見	回答	担当 委員会
1	<p><議員間討議について> 総務文教委員会で説明があった、メディアコントロールについて、子どもへの教育も大切だが、メディアコントロールを理解しなければならないのは親世代であると思う。 意見交換会の参加者はどの規模で開催したのか。</p>	<p>市内中学校のPTA会長に案内し、5校から出席され開催した。</p>	<p>総務文教</p>
2	<p><議員間討議について> PTA会長に限らず、一般児童・生徒全体の保護者に案内して開催してみてもどうか。</p>	<p>・今のところ、そこまで大規模での開催計画は無いが、今後検討してみたい。一部の意識ある保護者の意見だけでは結論づけできないのは同感である。 ・PTA役員の立場でない人の意見を参考にすべきではあるが、今回の意見には、メディアの使い方については必ずしも悪い面だけではなく、子どもたちがSNS等を活用して学習に活かしているといった良い面も聴くことが出来た。</p>	<p>総務文教</p>
3	<p><議会報告会について> 意見交換会は定期的で開催されているが、限られた場所、限られた人で開催されている感じがする。地域の意見を聴くことも大切だが、議員として各地域に訪問し地域の実情を知る姿勢を見せるべきではないか。</p>	<p>ご指摘のとおりである。議員は様々な地域から選出されており、自分の住む地域以外は入りにくい。従って、各地域で開催される議会報告会には地元議員でない構成で開催している。そもそも「市議会とは何か」を知られていない。今、学校で政治について学んでいる時間は5時間程度である。市民もあまり理解されていない。まずは、市議会の仕組みを知ってもらい、次のステップとして、議会報告会に参加された方の意見だけではなく各委員会のテーマに関係する方の意見を聴くことを試みた。 議員自らが地域に向いて意見を聴く事は当然必要であるので、各常任委員会に伝える。</p>	<p>広聴広報</p>
4	<p>若者流出に歯止めをかけるためにも、地域や学校に任せるだけでなく、議員が地域・学校に向き、現場を知り、益田の魅力を伝えていく事も対策のひとつ。議員が率先して社会教育「ひとづくり」を推進していくべき。</p>	<p>・市の施策として、「ふるさと教育」を通じて益田の魅力を伝えている。若者の流出をふせぎ、益田に残ってもらう。また、UIターンで定住し、産み育てられる地域を目指していく。第6次益田市総合振興計画においても「子育てにやさしく誰もが住みやすいまち」を目指し、行政・議会として方針に沿って推進している。また、市民の皆さまと議論していきたい。 ・議会として「子ども議会」を開催している。その中のディスカッションする部分で益田の魅力に気づいてもらうようにしている。地域行事や運動会等を通じて魅力を伝え、気づきを与えることが重要である。</p>	<p>総務文教</p>
5	<p>地域課題の一番は草刈りである。河川の草刈りも大変である。高齢化が進み予算があると言っても率先して実施されない。家畜で草刈りの労力を減らす、圃場整備や機械の導入といっても多額な費用がかかる。</p>	<p>・草刈りについては、どの地域からも要望がある。そのような状況を受け、議会として「中山間地域振興基本条例」を策定し、基本計画を執行部が作るよう提言している。 ・益田・吉田・高津地区以外の周辺地区の事が考えられていない。それを考えるために、中山間地域振興基本条例を制定した。県・市は行政としてどこまで地域を守っていくのか等これからの議論が重要である。</p>	<p>経済建設</p>

6	<p><地域について>（意見） 地域は地域の環境を守って、次の世代に繋げることを目標に頑張っている。諦めに繋がる施策にならないよう、頑張る地域に寄り添うよう、議員として地域の実情を把握して欲しい。</p>	意見として承る。	広聴広報
7	<p><地域自治組織について> 地域自治組織について、高齢化が進み苦勞している。地域は地域で出来ることはやっているが、近い将来、限界はやってくと思う。周辺地域の課題解決に向けて光が見える状況になることを望む。</p>	地域任せになっていることは承知している。地域自治組織のそれぞれの課題については、市の方向性を示しながら地域に伝える旨を担当課に伝える。	総務文教
8	<p><市道について> 山あいには県道から市道に抜ける道があるが、現在その周辺には2件の民家がある。今後の道路の管理が心配。</p>	市道に関しては、機動管理課が担当し、パトロールしている。何か問題や要望があれば、公民館や議員を通して対応をお願いできる。	経済建設
9	<p><観光について> 益田の海岸線の環境、自然は素晴らしいものがある。自然を堪能することや、釣りなどのレジャー客も見込める。海岸線や河口の整備をし、漁業を充実させ、資源を活用すべきと思うがどうか。</p>	益田の自然環境は誇るべきところが多くある。しかしながら、昨今の豪雨による増水の影響等により、海岸線や護岸の浸食がひどい状況である。自然を活かし交流人口拡大の意見はご指摘のとおりである。現在、委員会の議員間討議にて、観光や交流人口について話しているところである。	経済建設